

若年性認知症 研修会

～ 今、私も認知症になるかもしれない。どんな支援が受けたいですか ～

65歳未満で発症する若年性認知症は、全国で3万7800人（2009年厚生労働省実態調査）に上ります。しかも、物忘れなどの症状により仕事や家事にミスが重なっても、若年であるために、疲労や更年期障害、うつ状態など他の疾患と違い、専門医療機関での診断が遅れる傾向にあります。

老年期の認知症と異なり、御本人の家庭内や社会的な役割は比較的大きく、認知症発症による葛藤や苦悩は計り知れません。また、経済的な影響も大きく、そこに親の介護や育児も重なると、御本人や介護者の負担は更に増大します。そして、認知症が進行したとしても、身体的活動性が維持されていることも少なくないため、「仕事に行かなければ…」と思い込んで家を出てしまうと引き留めることも大変な労力を要します。そのような意味でも、通所や短期入所サービスの受入事業所が限られることも多く、ご家族も支援者も悩むことが多いのが実情で、家族介護者の6割がうつ状態に陥ると言われています。

私たち支援者は、ご本人ご家族の辛さを理解するとともに、経済支援を含め各種制度に精通し、適切な時期に情報提供できる力量が必要です。

若年性認知症支援に役立つ、正しい理解と知識をもつ機会として研修会を開催します。

- 1 主 催 一般社団法人 山口県介護支援専門員協会
- 2 日 時 令和元年9月27日（金）午前9時30分から正午まで
※受付時間は午前9時からになります。
- 3 会 場 山口県セミナーパーク 一般研修棟 大研修室
山口市秋穂二島 1062 TEL 083-987-1410
- 4 対 象 介護支援専門員（居宅・施設、現任・非現任を問いません。）
その他、相談援助職者、社会福祉関係者
- 5 定 員 120名
- 6 内 容 講義 「若年性認知症」
 - ・疾患理解と診療
 - ・本人と家族の心理状態、その支援
 - ・日常生活上の留意点（工夫、外出や運転）
 - ・利用できるサービス・諸制度と情報提供のあり方 等
- 7 講 師 医療法人水の木会 下関病院 精神科医 中山 寛人 氏
- 8 参 加 費 会 員：1,000円 非会員：4,000円
会員とは、山口県介護支援専門員協会の会員です。
※日本介護支援専門員協会他支部の正会員の方は当会正会員と同じ参加費区分を適用します。
※参加費は研修当日、受付にて徴収させていただきます。お釣のないようにお願いします。
徴収した後は如何なる理由においても返金しませんので予め御了承ください。
- 9 参 加 申 込 参加希望者は、別紙申込書に必要事項を記入の上、下記申込先にFAXまたは郵送にてお申し込みください。※電話による申込は御遠慮願います。
- 10 申 込 締 切 日 令和元年9月13日（金）
ただし、定員に達した場合は締め切らせていただきます。
また、定員を超えた場合は受講できない方の方に連絡いたします。
- 11 昼 食 昼食は各自で準備してください。また、ゴミは各自でお持ち帰りください。
セミナーパークには食堂がございます。研修会場内での飲食は可能です。
- 12 個人情報取扱い 「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修会の運営管理にのみ使用させていただきます。
- 13 申 込 先 一般社団法人 山口県介護支援専門員協会 事務局 担当：福本、岡村
山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内
TEL：083-976-4468 FAX：083-976-4469

レビー小体型認知症 研修会

～ 知っていれば支援が変わる！多彩な症状に対処を！ ～

レビー小体型認知症（DLB）は、日本ではアルツハイマー型認知症（AD）、脳血管性認知症と並んで3大認知症と位置付けられ、国内のDLB患者数は30～60万人程度と推測されています（2012年厚生労働省推計）。しかし、初期症状が非常に多彩なことから別診断を受けていることや、専門医でも診断しにくいケースもあり、実際の罹患者は50～90万人ともいわれます。加えて、症状の進行はAD以上に速く不可逆的です。

治療開始が遅れるほどに、特徴的な症状（認知機能障害に加えて、精神症状、行動障害、運動障害、自律神経障害が高頻度で発現）も進行し、ご本人のみならず介護者の負担感も大きく、施設入所を早める要因となっています。

私たち介護支援専門員が気付ける症状、診断に有効な情報提供の在り方、身体症状への支援や生活環境整備、近年の治療・薬剤の知識を持っておくことはとても重要です。

蝶ネクタイのカフェ店長（認知症専門医）中山寛人先生にご指導いただき、研修会を開催します。

- 1 主 催 一般社団法人 山口県介護支援専門員協会
- 2 日 時 令和元年9月27日（金）午後1時から午後3時30分まで
※受付時間は午後零時30分からになります。
- 3 会 場 山口県セミナーパーク 一般研修棟 大研修室
山口市秋穂二島1062 TEL 083-987-1410
- 4 対 象 介護支援専門員（居宅・施設、現任・非現任を問いません。）
その他、相談援助職者、社会福祉関係者
- 5 定 員 120名
- 6 内 容 講義 「レビー小体型認知症」
・疾患の特徴と治療、医師への有効な情報提供と連携
・多彩な症状と適切な対応
・家族への支援 など
- 7 講 師 医療法人水の木会 下関病院 精神科医 中山 寛人 氏
- 8 参 加 費 会 員：1,000円 非会員：4,000円
会員とは、山口県介護支援専門員協会の会員です。
※日本介護支援専門員協会他支部の正会員の方は当会正会員と同じ参加費区分を適用します。
※参加費は研修当日、受付にて徴収させていただきます。お釣のないようにお願いします。
徴収した後は如何なる理由においても返金しませんので予め御了承ください。
- 9 参 加 申 込 参加希望者は、別紙申込書に必要事項を記入の上、下記申込先にFAXまたは郵送にてお申し込みください。※電話による申込は御遠慮願います。
- 10 申 込 締 切 日 令和元年9月13日（金）
ただし、定員に達した場合は締め切らせていただきます。
また、定員を超えた場合は受講できない方のみご連絡いたします。
- 11 昼 食 昼食は各自で準備してください。また、ゴミは各自でお持ち帰りください。
セミナーパークには食堂がございます。研修会場内での飲食は可能です。
- 12 個人情報取扱い 「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修会の運営管理にのみ使用させていただきます。
- 13 申 込 先 一般社団法人 山口県介護支援専門員協会 事務局 担当：福本、岡村
山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内
TEL：083-976-4468 FAX：083-976-4469